科目名			担当教員	
社会福祉原論 A			元村　智明	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CC3085	2	1	RorSR（講義）	2 年以上
生成 AI 利用レベル		レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	

※会場によりスクーリングを別教員が担当します（札幌：齋藤征人先生）。

科目の概要

■科目の内容

社会福祉にかかわる全般的な基礎知識の学修と、社会福祉観の変遷についての理解を目的とします。“社会福祉”という言葉は広く使われるため、その実態の学問的把握は曖昧になりやすく、ともすると主観的な幸福論や通俗的な人生論に終始しやすいと思われます。しかし、多種多様な社会福祉事象および具体的な社会福祉実践の本質は、まぎれもなく他者の人生へのかかわりであり、理念的には人類史上の文化的創造の営為の一つとも解せます。したがって、「社会福祉原論 A」では具体的な政策展開を中心に社会福祉に関する専門用語・知識の確認を行いながら、常に「社会福祉とは何か」「社会福祉をいかに捉えていくのか」等を思考しながら学修することを望みます。大切なことは、自らの社会福祉観の涵養にあるといえます。

■到達目標

1）社会福祉の全般的な基礎知識（社会福祉士・精神保健福祉士国家試験科目『社会福祉の原理と政策』の合格水準）を解説できる。
2）社会福祉の歴史の概要を説明することができる。
3）社会福祉の政策に関して理解し、説明することができる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「俯瞰的な分析力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 60%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 40%

■教科書・参考図書

【教科書】（「社会福祉原論 B」と共通）

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座［共通科目］4 社会福祉の原理と政策　第 2 版』中央法規出版、2025 年

（最近の教科書変更時期）2026 年 4 月

（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用し、配付資料を中心にして講義を行います。

【参考図書】

厚生労働統計協会編『厚生の指標・臨時増刊国民の福祉と介護の動向』厚生労働統計協会、各年版。なお、詳細な参考図書は、スクーリング時に適宜紹介します。

■事前に学習してほしい内容

日々の報道において社会事象に十分に関心をもってふれてください。また、それが社会福祉の対象となる問題か、否かについて常に考えてみてください。

スクーリング

▶仙台・オンデマンド開講分　元村　智明

■スクーリングで学んでほしいこと

自らの社会福祉観を問い直しながら、社会福祉のあるべき姿について他人事ではなく自分事として考えてみたいと思います。具体的には以下の３点について検討することによります。

1）社会福祉とは何か（基本的性格、存立の根拠、そこに包摂される理念や原理、原則などを含む）

2）社会福祉が歴史的社会的にどのようにして形成され、展開してきたか

3）福祉国家および福祉社会の方向性と福祉政策の展開について、考察する

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	福祉政策の概念・理念と社会福祉学	社会福祉学を学ぶ基本的視点を政策から学ぶ意義や必要性
2	社会福祉の歴史視点と時期区分	＜社会福祉＞を認識する視点と方法としての段階・時期区分
3	日本の社会福祉の歴史的展開①	前近代社会の福祉理念と具体的な福祉実践
4	日本の社会福祉の歴史的展開②	近代社会における福祉理念と具体的な福祉実践
5	欧米の社会福祉の歴史的展開	欧米の近代社会の成立と市民社会の形成における福祉実践
6	社会福祉の現代的展開	現代社会の福祉理念と社会保障制度とソーシャルワーク
7	福祉政策の国際比較①	福祉国家を国際比較するための視点と方法
8	福祉政策の国際比較②	欧米と東アジア社会における福祉政策
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

配付資料を中心に講義を進めます。教科書は参考程度に使用します。

■スクーリング評価基準

とくに＜社会福祉＞の成立についての理解を問います（教科書・配付資料、自筆ノートの持込可）。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

「社会福祉はなぜ必要なのか」「福祉と社会福祉は異なるのか」について考えながら、受講されてください。なお、教科書の「序章　社会福祉の原理」「第１章　社会福祉の歴史」「第４章　福祉政策の基本的な視点」「第７章　福祉政策の動向と課題」「第 10 章　福祉政策の国際比較」を一読して受講されてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

講義内容をさらに発展させて、日々の時事問題に関心をもち、それが社会福祉の対象範囲となり得るか、否かについて考え続けながら他の科目を受講されてください。また、教科書の該当頁を再読されてください。

▶札幌開講分　齋藤　征人

■スクーリングで学んでほしいこと

現代に生きる人びとの「受苦」を、他人事ではなく自分事として問い直しながら、社会福祉のあるべき姿について考えます。具体的には以下の３点について検討することによります。

1）社会福祉とは何か（その基本的性格、存立の根拠、そこに包摂されている理念や原理、原則）。

2）社会福祉が歴史的社会的にどのように形成されてきたか（日本の社会福祉形成史の検討）。

3）社会福祉の援助活動は具体的にどのように行われているか（ソーシャルワーカーのあり方や役割など）。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	社会・地域が抱える課題	少子・高齢化、人口減少、多世帯化
2	社会福祉とは何か①	日本国憲法と社会福祉
3	社会福祉とは何か②	社会福祉学研究における定義、理念、範囲
4	私たちを取り巻く社会情勢及び暮らしの変化	人口・労働・家族の変化
5	社会福祉のあゆみ①	戦前の福祉理念と具体的な福祉実践
6	社会福祉のあゆみ②	戦後の福祉理念と具体的な福祉実践
7	社会福祉の現代的展開	現代社会の福祉理念とソーシャルワーク
8	社会福祉の主体と対象	近年の福祉実践とその理念・視点・モデル
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

配付資料を中心に講義を進めます。教科書は参考程度に使用します。

■スクーリング評価基準

とくに「スクーリングで学んでほしいこと」についての理解を問います（教科書・配付資料、自筆ノートの持込可）。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

「社会福祉はなぜ必要なのか」「福祉と社会福祉は異なるのか」について考えながら、受講されてください。なお、教科書の「序章　社会福祉の原理」「第 1 章　社会福祉の歴史」「第４章　福祉政策の基本的な視点」「第 7 章　福祉政策の動向と課題」「第 10 章　福祉政策の国際比較」を一読して受講されてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

講義内容をさらに発展させて、日々の時事問題に関心をもち、それが社会福祉の対象範囲となり得るか、否かについて考え続けながら他の科目を受講されてください。また、教科書の該当頁を再読されてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	現代社会と社会問題 (第３章第１節)	現代社会における社会問題を考える キーワード：非正規雇用問題、核家族、社会的孤立、社会的排除、リーマンショック、ヴァルネラビリティ、リスク	社会が抱える問題の全体像を理解し、個人問題ではなく個別・具体的な社会問題として理解を行い、社会問題の解決策について考えてみましょう。
2	福祉政策とは何か (第４章第１節)	福祉政策の基本的な視点 キーワード：狭義の福祉、広義の福祉、最高善、選好	＜狭義の福祉＞と＜広義の福祉＞を理解したうえで、＜幸福＞＜徳＞＜選好＞＜功績＞等の価値を含む概念との関連性で社会福祉とニーズ（必要）の概念について考えてみましょう。
3	福祉政策の概念・理念 (第４章第２節)	福祉政策における概念と理念 キーワード：パターナリズム、自由、平等、自立、フェミニズム、人権	＜自由＞や＜平等＞の概念を踏まえたうえで、＜自立＞と＜依存＞の関係をおさえ、自由主義思想とその変質・変容を理解し、新自由主義が福祉政策に与える影響を理解しましょう。
4	社会福祉の歴史① (第１章第１節)	社会福祉の歴史を学ぶ視点 キーワード：社会関係、段階論、時期区分論	＜社会福祉＞の成立を社会福祉の歴史を学ぶことを通して考えてみます。 その際に、＜個人＞と＜社会＞のありようを歴史的視点から学びながら、社会福祉を段階的に理解しましょう。
5	社会福祉の歴史② (第１章第２節)	欧米における社会福祉のあゆみ キーワード：救貧税、慈善組織協会、友愛訪問、貧困調査、ナショナル･ミニマム、５人の巨人、貧困の再発見、公民権運動、新自由主義	資本主義の社会体制の先駆けとなったイギリス社会と急激に発展したアメリカ社会において、社会問題の創出とその対応としての政策として、社会福祉の歴史的展開について把握しましょう。
6	社会福祉の歴史③ (第１章第３節)	日本における社会福祉のあゆみ キーワード：四箇院、戸令、慈善事業、感化救済事業、社会事業、厚生事業	日本の社会福祉のあゆみを段階的に理解し、社会福祉の歴史的展開のなかに、その連続性と非連続性の双方の側面を考えてみましょう。
7	福祉政策の構成要素と過程① (第６章第１節)	福祉政策の構成要素 キーワード：政策、第三の道、レジリエンス、逆機能、資源配分、準市場	福祉政策の構成要素について、政策分野と各分野の目的から理解したうえで、福祉政策の資源配分の諸形態を学び、福祉サービスの提供方式の多元化と各々役割について理解しましょう。
8	福祉政策の構成要素と過程② (第６章第２節)	福祉政策の諸過程と方法・評価 キーワード：住民参加、PDCA サイクル	福祉政策の全体像とその諸過程を踏まえ、福祉政策の方法・手段・評価をおさえたうえで、さらに福祉政策と福祉計画、福祉行財政の関連性について把握しましょう。

9	福祉政策の動向と課題① (第７章第１節)	福祉政策と包括的支援の現状 キーワード：社会福祉基礎構造改革、措置（委託）制度、契約、社会福祉法、地域共生社会、多文化共生（社会）、持続可能な社会	福祉政策の起点である社会福祉基礎構造改革の基本的方向性への理解と社会福祉法の成立を踏まえ、近年の福祉政策の動向と社会の方向性についておさえましょう。
10	福祉政策の動向と課題② (第７章第２節)	福祉政策と包括的支援の課題 キーワード：SDGs、地方創生、インクルーシブな社会	＜地域共生社会＞の実現と地域づくりへの課題を踏まえ、福祉人材確保と多文化共生社会の課題、社会的課題解決の新たな方法を学びましょう。
11	福祉政策と関連政策① (第８章第１節・第２節)	福祉政策と保健医療政策・教育政策 キーワード：医療ソーシャルワーカー、子どもの貧困、スクールソーシャルワーカー、貧困の世代的再生産	人が人に係わる隣接領域の保健医療政策と教育政策の概要を踏まえて、それらが福祉政策といかに関連しているかについて考えながら、他業種・多職種が連携する必要性や必然性について考えてみましょう。
12	福祉政策と関連政策② (第８章第３節・第４節・第５節)	福祉政策と住宅政策・労働政策・災害政策 キーワード：ライフサポートアドバイザー、サービス付き高齢者向け住宅、第二のセーフティーネット、就労支援員、福祉避難所	人が生きていくうえで必要不可欠な住まいと労働、そして災害時の各政策概要を踏まえて、それらが福祉政策といかに関連しているかについて考えてみましょう。
13	福祉サービスの供給と利用の過程① (第９章第１節)	福祉サービスと福祉供給部門 キーワード：レッセフェール、パターナリズム、CSR（企業の社会的責任）	福祉サービスの供給が多元的な供給主体によって担われている点をふまえながら、その供給主体のそのものの特徴として長所や短所についておさえてみましょう。
14	福祉サービスの供給と利用の過程② (第９章第２節)	福祉サービスと福祉供給過程 キーワード：情報の非対称性、新自由主義	福祉サービスにおける供給過程の仕組みの全体像を把握しながら、福祉行財政の役割や市場の仕組みの導入がもたらす功罪について考えてみましょう。
15	福祉サービスの供給と利用の過程③ (第９章第３節)	福祉サービスと福祉利用過程 キーワード：社会権、資力調査、スティグマ、アウトリーチ	利用者が福祉サービスを利用する視点を学び、権利保障の観点から福祉サービスの利用過程の課題を確認し、権利保障のためのソーシャルワークの機能を理解しましょう。

■レポート課題

１単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
２単位め	学修者自らが理解した社会福祉の概念（定義）について、時代背景を踏まえて生活保障の観点から福祉政策の戦後日本社会の展開のなかで説明してください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

※２単位めは、1,800 字以上でまとめるようにしてください。

■アドバイス

「社会福祉原論」は、長年にわたり社会福祉学の教育研究における必要不可欠な基礎科目です。しかし、「社会福祉士および介護福祉士法」の施行に伴い、大学教育の観点からの「社会福祉原論」の講義は困難になっていると思われま

す。むしろ社会福祉士等の資格取得を目指し、国家試験受験科目の一つとして履修されている方も多いと推察しております。

担当教員としては、「社会福祉原論 A」が、学問としての大学教育として、また国家試験受験科目〈社会福祉の原理と政策＝本学対応科目：社会福祉原論 A・B〉としても、双方に配慮したレポート学習およびスクーリングの授業内容としたいと考えております（そのため「社会福祉原論 A」を履修する方は、できましたらスクーリングも、是非受講していただききたいと存じます）。以上の点を勘案し、以下のレポート課題を設定しました。

１単位めは、社会福祉の政策についての課題です。社会福祉にかかわる歴史的事象の《全般的な把握と肝要な細部》を目的としております。２単位めは、社会福祉のあゆみの全体像の整理を目的としております。1～2 単位めのレポート学習を通して、学修者に社会福祉に対する一定の心象（イメージ）が形成されればと思います。教科書を十分活用してまとめてください。レポート作成においては、教科書のみで対応できます。

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

教科書「第 1 章　社会福祉の歴史第 3 節日本の社会福祉の歴史的展開」および「第 7 章　福祉政策の動向と課題」を参考に要約してまとめてください。社会福祉の概念を福祉政策との関連からの理解と、社会福祉の固有性の理解を目的とします。

科目修了試験

■評価基準

教科書の内容理解に努めること。